

吉田惣兵衛氏文書(1)概要

1: 文書群番号	076013-1
2: 文書群名	吉田惣兵衛氏文書(1)
3: 出所	吉田惣兵衛家
4: 家業・役職等	生津村庄屋
5: 地名	摂津国武庫郡生津村／兵庫県武庫郡生津村／武庫郡武庫村生津／尼崎市生津／尼崎市武庫之荘西ほか
6: 行政区分	幕府領／尼崎藩領／兵庫県第8区／常吉組戸長役場／武庫村／尼崎市
7: 歴史	生津村は、市域北西部に位置する。史料上の初見は慶長10年(1605)で「ナマツ田村」とある。 村高は慶長10年、元禄15年(1702)に267石余、天保5年(1834)に268石余とある。また、天和・貞享年間(1681～1688)に家数26軒・人数159人、天明8年(1788)に家数15軒・人数68人であった。 水利は武庫井組に属した。氏神は磐長姫神社(近世には大將軍社)。村内にはほかに住吉4社があったが、磐長姫神社に合祀された。
8: 伝来	市史編集室時代に調査済みであった本文書群を、昭和51年に吉田惣兵衛氏が史料館へ寄託。同氏文書(2)293点と本来一体。平成24年5月、吉田茂男氏と寄託契約更新。
9: 史料入手先	吉田惣兵衛氏
10: 点数	790点(目録件数390件)
11: 年代	貞享4年(1687)～明治34年(1901)
12: 構造と内容	本文書群は大半が近世史料で構成され、一部明治年間の史料がある。 内容は①支配、②土地・貢納、③戸籍、④武庫井、⑤氏神、⑥村政関連の史料のほか、⑦金融を中心とした家の関係史料などがある。 ①は触書類が中心で、近代の諸達・届綴も含まれる。②は、名寄帳等土地台帳、尼崎藩が組織した講関係史料、年貢減免の願書等が比較的ままとまっている。また西宮駅への助郷役関係史料などがある。③は人別帳、人別送り状等の他、奉公人、家出人、相続に関する史料が含まれている。④は、普請や分水に関わる史料の他、明治30年(1897)の水害罹災関係史料などがある。⑤は氏神修復関係史料が多い。⑥は安政2年(1855)以降明治30年代にいたるまでの村方支配算用帳がままとまっている。⑦は田畑等質入、借用銀証文等である。
13: 関連史料	吉田惣兵衛氏文書(2)、吉田久氏文書(1)、同氏文書(2)、生津部落有文書ほか
14: 閲覧条件	原本
15: 作成者	河野未央